

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 藤井産業株式会社  
 コード番号 9906 URL <http://www.fujii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 昌一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長 (氏名) 秋本 榮一  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 028-662-6018

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	46,851	20.8	1,679	169.5	1,979	119.7	788	91.9
25年3月期第3四半期	38,792	3.7	623	237.4	900	87.8	410	165.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 928百万円 (100.2%) 25年3月期第3四半期 463百万円 (1,117.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	90.98	—
25年3月期第3四半期	47.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	36,896	15,649	39.3	1,673.03
25年3月期	34,150	14,924	40.4	1,593.36

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 14,501百万円 25年3月期 13,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	16.00	20.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,600	15.8	2,100	72.1	2,500	61.1	1,000	17.6	115.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
 業績予想の修正については、本日(平成26年2月13日)に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	10,010,000 株	25年3月期	10,010,000 株
26年3月期3Q	1,342,069 株	25年3月期	1,342,069 株
26年3月期3Q	8,667,931 株	25年3月期3Q	8,667,948 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、日銀による金融緩和の継続や政府のいわゆる「アベノミクス」経済施策による円高修正、株高の効果により、輸出企業を中心とした業績の回復や消費マインドの改善が見られ、緩やかながら着実に持ち直しています。しかしながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、明るい兆しがある一方で、2014年4月からの消費税率の引き上げによる影響や欧州での債務問題、新興国等の経済不安、中東情勢の不安定などからの世界経済の下振れ懸念が景気の先行きに不透明感をもたらしています。

このような状況の下、当社グループは、前期に掲げました「SOLAR POWER・POWER SAVING」のコンセプトワードを継承し、引き続き「創エネ・省エネ・蓄エネ」商材を中心とした営業活動を積極的に推進してまいりました。また、平成25年9月には創業130周年記念展示会「スマートフェア」及び電設部門展示即売会を開催し、多数の来場者を迎え、成功裡に収めることが出来ました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結成績は、売上高468億51百万円（前年同四半期比20.8%増）、経常利益19億79百万円（前年同四半期比119.7%増）、四半期純利益は、足利支店移転や子会社の賃貸ビルの解体等による減損損失3億30百万円を計上しましたが7億88百万円（前年同四半期比91.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （電設資材）

物件受注売上が好調に推移するとともに、「創エネ・省エネ・蓄エネ」商材の引合いが活発化し、なかでも特に太陽光発電関連資材の販売が大きく伸長しました。この結果、売上高は241億13百万円（前年同四半期比27.0%増）となりました。

#### （産業システム）

機器制御は、太陽光発電設備向けの配電制御機器などの受注が増加しましたが、主要顧客の設備投資の回復が弱い状況が続き、前期比減の売上高となりました。設備システムは、火力発電向け大型案件や東北での売上が好調であったことから前期比増の売上高となりました。情報システムは、文教関係が低調に推移したことから前期比減の売上高となりました。この結果、売上高は84億94百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

#### （施工）

建設資材工事は、前期比減の売上高となりましたが、総合建築工事は、太陽光の直受施工案件や大型建築工事案件が完工し、前期を大幅に上回る売上高となりました。コンクリート圧送工事については、新規建設案件が増加してきたことから前期比増の売上高となりました。この結果、売上高は100億11百万円（前年同四半期比36.1%増）となりました。

#### （土木建設機械）

土木建設機械は、新車、中古車販売が伸長するとともに、景気回復を受け建設機械の稼働が上昇したことから、メンテナンスサービス、レンタル事業ともに売上が好調に推移しました。この結果、売上高は39億10百万円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

#### （メガソーラー発電）

「再生可能エネルギー固定価格買取制度」に基づき東京電力株式会社に電力供給している栃木県内4ヶ所のメガソーラー発電施設における発電量は、計画を上回り順調に推移しました。この結果、売上高は3億21百万円（前年同四半期は12百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億45百万円増加し、368億96百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度に比べ29億99百万円増加し、269億11百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少しましたが、現金及び預金、商品、未成工事支出金がそれを上回る増加となったことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度に比べ2億54百万円減少し、99億85百万円となりました。これは土地等の減損損失を計上したことが主な要因であります。

流動負債は、前連結会計年度に比べ20億50百万円増加し、198億37百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度に比べ30百万円減少し、14億9百万円となりました。なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ7億25百万円増加し、156億49百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（平成26年2月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,289,307	8,446,084
受取手形及び売掛金	16,113,227	14,413,333
商品	1,656,521	2,670,727
未成工事支出金	519,089	1,073,323
原材料及び貯蔵品	2,390	1,997
その他	477,671	450,228
貸倒引当金	△146,888	△144,577
流動資産合計	23,911,320	26,911,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,706,468	1,738,643
土地	3,259,919	2,977,191
その他（純額）	2,081,563	1,897,569
有形固定資産合計	7,047,951	6,613,404
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,893,675	2,161,534
その他	1,651,079	1,623,710
貸倒引当金	△515,840	△548,741
投資その他の資産合計	3,028,915	3,236,502
固定資産合計	10,239,671	9,985,378
資産合計	34,150,991	36,896,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,668,904	14,300,447
短期借入金	3,210,000	3,250,000
未払法人税等	455,459	469,177
賞与引当金	529,800	361,850
役員賞与引当金	40,900	39,875
工事損失引当金	4,151	3,830
その他	877,526	1,412,252
流動負債合計	17,786,742	19,837,433
固定負債		
退職給付引当金	819,336	786,054
役員退職慰労引当金	254,559	255,247
債務保証損失引当金	2,400	1,800
その他	363,859	366,165
固定負債合計	1,440,156	1,409,268
負債合計	19,226,898	21,246,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,650	1,883,650
資本剰余金	2,065,090	2,065,090
利益剰余金	10,268,092	10,865,991
自己株式	△674,035	△674,035
株主資本合計	13,542,797	14,140,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,303	361,013
その他の包括利益累計額合計	268,303	361,013
少数株主持分	1,112,992	1,148,082
純資産合計	14,924,093	15,649,792
負債純資産合計	34,150,991	36,896,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	38,792,247	46,851,062
売上原価	33,470,607	39,891,083
売上総利益	5,321,639	6,959,978
販売費及び一般管理費	4,698,366	5,280,379
営業利益	623,272	1,679,598
営業外収益		
受取利息	5,676	5,108
受取配当金	24,543	31,297
仕入割引	175,772	206,740
受取賃貸料	36,854	39,228
持分法による投資利益	20,618	16,161
貸倒引当金戻入額	17,132	—
その他	56,198	61,746
営業外収益合計	336,794	360,282
営業外費用		
支払利息	14,109	13,338
売上割引	13,372	15,859
賃貸費用	14,628	18,522
支払補償費	8,629	—
その他	8,513	12,828
営業外費用合計	59,253	60,549
経常利益	900,813	1,979,332
特別利益		
固定資産売却益	9,709	3,666
特別利益合計	9,709	3,666
特別損失		
減損損失	—	330,127
投資有価証券評価損	73,539	—
特別損失合計	73,539	330,127
税金等調整前四半期純利益	836,983	1,652,871
法人税等	393,272	808,845
少数株主損益調整前四半期純利益	443,711	844,026
少数株主利益	32,713	55,433
四半期純利益	410,998	788,593



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	443,711	844,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,145	82,549
持分法適用会社に対する持分相当額	△224	1,817
その他の包括利益合計	19,920	84,366
四半期包括利益	463,632	928,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443,833	881,303
少数株主に係る四半期包括利益	19,798	47,090

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	電設資材	産業システム	施工	土木建設機械	メガソーラー 発電	
売上高						
外部顧客への売上高	18,989,553	9,234,233	7,353,874	3,202,316	12,269	38,792,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,680	47,527	493,394	2,216	—	565,818
計	19,012,233	9,281,760	7,847,268	3,204,532	12,269	39,358,065
セグメント利益	398,402	340,852	108,530	140,325	△18,921	969,190

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	969,190
持分法による投資利益	20,618
配賦不能全社損益(注)	△46,348
未実現利益の調整	△47,034
その他の調整額	4,388
四半期連結損益計算書の経常利益	900,813

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社本部・管理部門の一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	電設資材	産業システム	施工	土木建設機械	メガソーラー 発電	合計
売上高						
外部顧客への売上高	24,113,131	8,494,412	10,011,555	3,910,772	321,189	46,851,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,461	37,048	60,099	168	—	115,777
計	24,131,592	8,531,461	10,071,654	3,910,941	321,189	46,966,839
セグメント利益	773,028	231,107	623,721	239,438	125,910	1,993,205

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,993,205
持分法による投資利益	16,161
配賦不能全社損益（注）	△30,871
その他の調整額	837
四半期連結損益計算書の経常利益	1,979,332

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社本部・管理部門の一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結会計期間において、減損損失330,127千円計上しておりますが、当該事業用資産及び賃貸用資産は電設資材セグメントであります。